Step up

豊松小学校　６年

高齢者生活福祉センターで餅つき交流をしました

１２月１６日（金）に，高齢者生活福祉センターを訪問し，餅つき交流をしました。みんなで「よいしょ！」とかけ声をかけながら杵と臼で餅をつく体験をしました。６年生は，昨年度も体験しているので上手にできました。

そして，お年寄りの方といっしょにもちを丸めました。「お年寄りの方とたくさん話をする。」「自分から話しかける。」などのめあてをもって交流しました。おばあちゃんにあんこ餅の作り方を教えてもらったり，おじいちゃんやお父さんの名前を言って自己紹介をしたりしていました。

交流の最後は，「ふるさと」の合唱と笛の２部合奏を発表しました。お年寄りの方が，一緒に歌ってくださったり，涙を浮かべて聞いてくださったりしていました。川上所長さんは，「豊松小学校のみんなに元気をもらいました。」と言ってくださいましたが，反対に子ども達はお年寄りの方から温かい心をもらった気がしましました。

振り返りより

交流もちつきの振り返り

平松　鴻志

ぼくは今日、知らない方と話して楽しかったです。去年は、自信がなくて話すのにきんちょうしたけど、今年はスムーズに話すことができたのでよかったです。

今日は、ぼくの曽祖母もいたので自己紹介がきんちょうせずにできました。

もちつきでは、地域の方が声を出して応援してくださったのでうれしかったです。まねいに教えてくださいました。

この交流で、地域の方もぼく達も元気になれたと思います。

鴻志君は、ひいおばあちゃんがいたから安心したようですね。いっしょに写真も撮りました。

交流もちつきの振り返り

笹部　陽希

ぼくは、おもちをつくのがうまくできると思っていたけど、きねが意外に重くて強くはつけませんでした。

できたもちは、おばあちゃん達といっしょに丸めました。おばあちゃん達はとても上手で、ぼく達も教えてもらいました。すると、すごくうまくできて、

「上手じゃな。」

と言われました。うれしかったです。

他にもいろいろな話をして、六年生が男子だけだというと、とても驚かれていました。おじいちゃんやおばあちゃんと話をするのがとても楽しかったです。

おもちを伸ばしてあんこを包むやり方を教えてもらっていました。本当に上手にできていました。